離島の英語教育に関する一考察

― その現状と課題 ―

木　塚　雅　貴
（京都府立医科大学　大学院医学研究科　応用言語学）

Situations and Problems in English-Language Education on Remote Islands in Japan

― A Report and a Consideration of Research Results on Several Islands ―

Masataka KIZUKA

Ⅰ．問題の所在

本稿の主題は，学校教育の教科の１つとして英語を採り上げ，教師・生徒・保護者の視点から，日本の離島における教育の現状の一端を捉え，そこでの教育が抱える課題を明らかにし，今後の離島における教育政策の方向性を探ることにある。

木塚・木村（p.29）において言及されているように，離島の英語教育の実情に関する調査・研究は，これまでほとんど行われていない。すなわち，離島の教育に根本的に求められている施策が実際に行われているか否かについては，心もとない現状が看取される。従って，木塚・木村において明らかにされているように，離島に赴任した新採用の英語教師に必要とされている支援は，離島固有の状況と初任の英語教師が抱える個別の課題という２つの面を考慮に入れて行われることが必要であり，そのような観点からも，離島の英語教育の現状を捉え，その課題を明らかにすることは，政策立案上必要不可欠な事項であると言える。

また，日本には数多くの離島があり，各離島には差異が見出される。交通網の整備・発達により，過去には離島という呼び方が適切であった島でも，現在そのように呼ぶことが適切であるか否かの吟味が必要な島も存在している。例えば，瀬戸内海に位置する島々の中には，連絡橋により本州や四国と直接繋がっている島があり，本州や四国という本島の中に位置しているのではないという意味においては「島」であり，「離島」であると捉えることができるかもしれないが，それは本土との交通手段が船または航空機に限定され，かつ日常的な往復が不可能である島とは，本質的に異なる状況にある。従って，離島の概念を均一化するのではなく，各島における固有の状況を考慮に入れることが，離島の現状把握にとっては重要であると言える。

従って本稿では，離島の概念を「島が属している都道府県本島からの交通手段が，船または航空機に限定されており，かつ本島までの船による所要時間が最低１時間以上必要とされる島」と定め，中学校を中心とした英語教育の現状を，教師に対する聞き取り調査及び生徒・保護者に対するアンケート調査の結果を分析することにより捉え，そこから離島固有の状況及び離島間に共通する状況，及び離島の英語教育の課題を導き出し，今後の離島の英語教育に対する施策立案の一助とすることを目的とする。

Ⅱ．調査・研究の方法

本研究では，日本の離島における英語教育の現状をでき得る限り広範囲に渡り詳細に明らかにするために，北海道・東京都・沖縄県に属している離島の中学校を調査の対象とした。すなわち，ある特定の地域に限定された調査に基づく研究ではなく，離島が多い日本の実情をできる限り明確に捉えることを企図した研究である。前項で述べたように，本研究では離島の概念を限定した上で，調査対象の島を選定した。なぜならば，たとえ連絡橋により本島との行き来が可能ではない島であっても，本島から船で数分から数十分程度で行き来が可能な島の場合には，人的・物的移動において，必ずしも離島と呼ぶことが適切ではない場合が多いからである。従って，本研究で対象とした都道府県の離島は，いずれも上記の条件を満たす以下に示す島々である。

○北海道―奥尻島・焼尻島・天売島
○東京都―父島・母島(1)
○沖縄県―北大東島・南大東島・波照間島

これらの離島には，奥尻島を除き，中学校は１校存在するのみであるため，本研究の調査対象者は，奥尻島以外，各島の全中学生とその保護者になっている。従って，調査対象の離島の現状を確実に把握することが可能であり，このような調査・研究は過去に行われていない。

調査方法(2)は，調査対象の総ての学校において，管理職及び英語担当の教員に同一内容の聞き取り調査を行うことで，教員から見た英語教育の現状を捉え，同時に調査対象の総ての学校の生徒と保護者に，英語教育に関するほぼ同一のアンケート用紙に回答してもらうことにより，両者が見た英語教育の現状を把握する方法を採った。

調査時期に関しては，総ての調査対象の島を同時期に行うことが望まれたが，１人で行う調査でありかつ調査対象の島が日本全国に位置していることから，以下のように若干異なっている。

○2008年９月―奥尻島
○2009年３月―北大東島・南大東島・波照間島
○2009年９月―父島・母島・焼尻島・天売島

なお，奥尻島については，当初本研究の予備調査という位置づけであったため，調査時期が先行しており，また同島に２校ある中学校の１校である奥尻中学校のみを調査対象としている。

以下では，まず，学校ごとの調査結果を分析した上で，都道県ごとの現状を把握する。そして，３地域に共通及び相違する状況を捉えることにより，離島の英語教育が抱える課題を明らかにする。そして最後に，離島における教育政策の方向性を探ることとする。

Ⅲ．北海道の状況

１．奥尻島（奥尻中学校）2008年９月調査

調査時点では，教員数(3)11名，全生徒数37名（１年生７名・２年生16名・３年生14名）であり，各学年単式学級である。新採用から５年目となる英語専科の教諭１名がいるが，ALT の配置はなく，週３時間を基本に英語の授業が行われている。小学校の「英語活動」は，2007年度から年間12時間程度，６年生のみを対象に実施されているに過ぎないため，2011年度からの「英語活動」の導入の準備は進んでおらず，小・中連携もほとんど行われていない。インターネット環境は整っているが，英語の授業では用いられていない。島内に塾はなく，学校が総ての学習の場である。島内に高等学校があることから，60％程度の生徒はそこに進学する。離島であるため，教員研修の機会は限られており，特に他の教員による英語の授業を参観する機会がないことが，問題点として教員に認識されている。また，離島であるため，初任者が赴任することが多い点も，問題点として挙げられている。

上記の聞き取り内容は，生徒（回答率：１年生71.4％・２年生87.5％・３年生92.9％）・保護者（回答率：１年生71.4％・２年生93.8％・３年生100％）の調査結果にも反映されている。特に２年生・３年生では，大半の生徒が「英語活動」を体験しておらず，保護者の約30％は「英語活動」の導入について知らなかった(4)。また，英語に触れる機会はほとんどなく，90％以上の生徒が NHK の英語番組や衛星放送・インターネットによる英語の視聴も行っていなかった。ただ，２年生を除き英語学習の目的に対する意識は比較的明確ではあるものの，調査時期との関連も考慮する必要性があるが，３年生では目的を意識している生徒の50％（５名）が「高校入試に合格する」ことを挙げていた。しかも，興味深いことに，目的を意識していない２年生９名中５名（55.6％）は，学校の英語の授業に「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待していたが，全体としては「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待する割合は50％以下であり，この傾向は保護者の回答結果においても同様であった。さらに，英語学習の目的を意識していない２年生９名中７名（77.8％）は，英語が将来必要になるとは考えていなかった一方で，保護者の約70％以上は将来子どもに英語が必要になると考えており，生徒と保護者の間に認識の乖離が見出された。また，両者ともに，授業以外で英語を使う機会がないと捉えていた。高校進学は総ての保護者が考えており，特に２・３年生では，回答者の65％以上が島内の高校進学を企図していた。

２．焼尻島（焼尻小中学校）2009年９月調査

調査時点では，教員数(5)５名，全生徒数５名（１年生１名・２年生１名・３年生３名）であり，各学年単式学級である。英語専科の教諭の産休に伴い，2009年９月より期限付き臨時採用の英語専科の教員が１名いる。ALT は，海が穏やかな４月から10月に，月２回町から派遣され，小中学校併設のため，両校を担当している。英語の授業は，週３時間を基本に行われている。「英語活動」は，2009年度から５・６年生を対象に，『英語ノート』に基づき年間35時間実施されている。小中学校併設であることから，小・中連携は可能であるが，カリキュラムの連携は行われていない。インターネット環境の整備は，不充分である。島内に塾はなく，学校が総ての学習の場であり，高等学校もないため，ほぼ全員が北海道本島の高等学校に進学する。ただ，進学に対する生徒・保護者の意識や緊張感は低い。離島であるため，教員研

修の機会が限られていること，及び教員が５教科に揃っていないことが問題点として教員に認識されている。ただ，５キロメートル程離れた天売島にある天売小中学校とは，年１回両島交流会を実施し，お互いの英語の授業を参観する機会が設けられている。また，離島であるため，初任者が赴任することが多い点も，問題点として挙げられている。

上記の聞き取り内容は，生徒(回答率100％)・保護者(回答率１年生０％・２年生100％・３年生100％)の調査結果にも反映されている。全生徒が「英語活動」を体験しており，保護者もほぼ全員が「英語活動」の導入について知っていた。学校以外で英語に触れる機会はほとんどなく，３年生１名を除く総ての生徒がNHKの英語番組や衛星放送・インターネットによる英語の視聴も行っていなかった。ただ，英語学習の目的に対する意識は全員明確であり，奥尻島と同じ９月の調査ではあったが，３年生で「高校入試に合格する」ことを挙げていた生徒は，１名(33.3％)に過ぎなかった。また，学校の英語の授業に「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待している生徒の割合は，２年生１名(100％)・３年生１名(33.3％)であり，この傾向は保護者においては２年生では同様であったが，３年生では異なっていた。さらに，全生徒と全保護者が，英語は将来必要になると考えており，両者の認識は完全に一致していた。また両者はほぼ共通して，授業以外で英語を使う機会がないと捉えていた。ただ，興味深い点は，外国人観光客と英語でコミュニケーションを取る機会があるとする回答が見られたことである。高校進学は総ての保護者が考えていたが，天売島にある高等学校への進学を企図している保護者はおらず，進学先は本島に分散していた(6)。

３．天売島（天売小中学校）2009年９月調査

調査時点では，教員５名，全生徒数５名（１年生４名・２年生０名・３年生１名)であり，各学年単式学級である。英語専科の教員はいないため，２名の教諭が免許外で１年生と３年生を担当している。ALTは，海が穏やかな４月から10月に，月２回町から派遣され，小中学校併設のため，両校を担当している。英語の授業は，週３時間を基本に行われている。「英語活動」は，2009年度から５・６年生を対象に，『英語ノート』に基づき年間35時間実施されている。小中学校併設であることから，小・中連携は可能であり，「英語活動」の授業を中学校の教員が見ることで連携を図っている。インターネット環境の整備は，不充分である。島内に塾はなく，学校が総ての学習の場である。島内には昼間定時制の高等学校があり，大半がそこに進学するが，家庭環境により進学先が左右される。また，焼尻島よりも宿泊施設の数が多く，漁船も大きいことから，同島との経済格差が見出される。離島であるため，教員研修の機会が限られていること，英語専科の教員がいないこと，及び生徒数が極めて少ないことにより英語の授業でコミュニケーション活動に限界があることが問題点として教員に認識されており，高等学校の英語の教員による指導を希望している。さらに，離島であるため，初任者が赴任することが多い点も，問題点として挙げられている。

上記の聞き取り内容は，生徒(回答率100％)・保護者(回答率100％)の調査結果にも反映されている。全生徒が小学校で「英語活動」を体験しており，全保護者が「英語活動」の導入について知っていることに加え，その必要性も全員が認めていた。学校以外で英語に触れる機会はほとんどなく，１年生と３年生の各１名を除く総ての生徒が，NHKの英語番組や衛星放送・インターネットによる英語の視聴を行っていなかった。ただ，英語学習の目的に対する意識は１年生で特に明確であり，奥尻島と同じ９月の調査ではあったが，高校入試を挙げている生徒は１名もいなかったことに加え，学校の授業に「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待している生徒の割合は，１年生の１名(25％)のみであった反面，保護者の回答では１年生で若干異なり，２名(50％)の保護者がそれを期待していた。また，全生徒が英語は将来必要になると考えている一方で，保護者は必ずしもそのようには考えていなかった。ただ，興味深い点は，外国人観光客と英語でコミュニケーションを取る機会があるとする回答が保護者に見られた点である。高校進学は総ての保護者が考えており，大半が島内の高等学校を企図していた。

４．考　　察

１.においても言及したが，調査時期と学校数が異なる奥尻島は，焼尻島・天売島とは「英語活動」に関しては，状況の違いが看取される。すなわち，「英語活動」の導入時期が2011年度であることに鑑み，調査時期が当該年度に近づくほど，実施状況や認知度が改善されて来ることは容易に推測され得ることであり，そのことに起因する調査結果であったことがうかがえる。

３島に共通して見出される事項として，以下の５点を挙げることができる。

①教員研修の機会が制約されていること。
②初任者が赴任する場合が多いこと。
③生徒の大部分は，NHKの英語番組や衛星放送・インターネットによる英語の視聴を行っていないこと。
④学校の授業以外では，生徒が英語に触れる機会はほとんどないこと。

⑤全保護者が，高等学校進学を志向していること。

また，広い意味で３島に共通して捉えられる傾向としては，以下の３点が挙げられる。

(a)生徒は，英語学習の目的を比較的明確に意識していること。

(b)生徒・保護者ともに，学校の授業に対して，「高校入試に受かる英語力」の養成を期待している割合は，全体の半数程度であること。

(c)将来の英語の必要性については，生徒・保護者ともに大半が認めていること。

上記は，調査対象の学校・学年により若干の相違が見出され，特に焼尻島と天売島では調査対象者が少ないこともあり，断定的な結論を導き出すことは難しいが，全体的な傾向として捉えることは可能である。

また，２島に共通する事項として，以下の２点を捉えることができる。

(1)奥尻島と天売島では，島内の高等学校への進学を目指す傾向が見られること。

(2)焼尻島と天売島では，外国人観光客と英語でコミュニケーションを取る機会が生徒にあること。

Ⅳ．東京都の状況

１．父島（小笠原中学校）2009年９月調査

調査時点では，教員数12名，全生徒数50名（１年生13名・２年生19名・３年生18名）であり，各学年単式学級である。英語専科の教諭[7]１名がおり，小笠原小学校と兼任する村派遣の ALT が配置され，週３時間を基本に英語の授業が行われている。「英語活動」は，１年生から６年生まで各学年年間35時間行われており，年間授業計画の作成や授業の準備等は，基本的に総て ALT が行う[8]ため，「英語活動」導入の準備に全く問題はない。「英語活動」及び中学校の「英語」を同一の ALT が担当しているため，小・中連携も比較的スムーズに行われている。最近整備されたインターネット環境が整っているが，英語の授業では使われていない。島内に塾はなく，学校が総ての学習の場である。島内に高等学校があることから，80％程度の生徒はそこに進学する。離島であるため，教員研修の機会が限られており，特に他の教員による授業を参観する機会がないことが問題点として挙げられるが，隣接する小学校や高等学校，及び母島小中学校との交流が年３回行われており，相互に授業参観を実施している。また，離島の教員には，長期休暇中に本州本島で行われる教員研修講座参加への優先権が与えられているため，研修への配慮もなされている。なお，1968（昭和43）年に父島が正式に日本に復帰するまでは，同島にあったラドフォード提督学校において，英語による授業が行われていたため，英語教育に対する島民の意識は高い。

上記の聞き取り内容は，生徒（回答率１年生100％・２年生94.7％・３年生94.4％）・保護者（回答率１年生84.6％・２年生52.6％・３年生61.1％）の調査結果にも反映されている。大部分の生徒が「英語活動」を体験している反面，保護者の約半数は「英語活動」の導入については知らなかった。この背景には，すでに小学校１年生から６年生まで毎週１時間「英語活動」が実施されていることに加え，父島が歴史的に英語教育と深い関わりがあり，小学校で「英語」が扱われることは半ば当然と見なされているという理由があることが推測される。塾はないため，学校以外で英語を学習している生徒はごく少数であるが，学校以外で英語に触れる機会が比較的多いという特徴が，回答結果からは捉えられる。特に３年生では，82.4％（14名）の生徒が授業以外に英語と触れる場があると回答しており，具体的な場面として，外国人観光客との接触を挙げている。同様の傾向は３年生の保護者にも見出されることに加え，１年生の保護者の回答にも，「外国人観光客との会話」という回答が記されている。また，２年生・３年生では80％以上の生徒が NHK の英語番組を視聴していない一方で，１年生は92.3％（12名）の生徒が NHK の英語番組を視聴している。衛星放送・インターネットによる英語の視聴を行ったことがある生徒も，１年生と３年生では23％いた。しかし，２年生を除き英語学習の目的に対する意識は比較的不明確であり，目的を意識している２年生14名中４名（28.6％）以外は，「高校入試に合格する」ことを挙げる生徒はいなかった。しかも，興味深いことに，英語学習の目的を意識していない３年生８名中４名（50％）は，学校の英語の授業に「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待していた。ただ，全体としては「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待する生徒の割合は50％以下であり，この傾向は保護者では一層顕著に表れており，大半が「日常会話ができる程度の英語力」を学校の授業に期待していた。さらに，英語学習の目的を意識していない３年生８名中６名（75％）は，英語が将来必要になるとは考えていないことに加え，３年生全体では82.4％（14名）が，将来英語が必要になるとは考えていなかった。しかし，総ての保護者が将来子どもに英語が必要になると考えており，生徒と保護者の間に認識の隔たりが捉えられた。高校進学は総ての保護者が考えており，全体として回答者の80％以上が島内の高校への進学を企図していた。

２．母島（母島小中学校）2009年９月調査

調査時点では，教員数12名，全生徒数11名（１年生３

名・２年生５名・３年生３名)であり，各学年単式学級である。英語専科の教諭１名がおり，村派遣によるALTが配置され，週３時間を基本に英語の授業が行われている。「英語活動」は，１年生から６年生まで年間35時間行われており，年間授業計画の作成や授業の準備等は総て基本的にALTが行うため，「英語活動」導入の準備に全く問題はない。「英語活動」及び中学校の「英語」を同一のALTが担当しているため，小・中連携も比較的スムーズに行われている。最近整備されたインターネット環境が整っているが，英語の授業では使われていない。島内に塾はなく，学校が総ての学習の場である。島内に高等学校がないため，母島出身の生徒はほぼ全員，父島にある小笠原高等学校に進学する。離島であるため，教員研修の機会が限られており，特に他の教員による授業を参観する機会がないことが問題点として挙げられるが，小学校や父島にある小笠原小学校・小笠原中学校・小笠原高等学校との交流が年３回行われており，授業参観を実施している。また，離島の教員には，長期休暇中に本州本島で行われる教員研修講座参加への優先権が与えられているため，研修への配慮も行われている。なお，旧島民の世代には，英語を使うことができる者がおり，英語が使えることが望ましいという感覚が見られる。

上記の内容は，生徒(回答率100％)・保護者(回答率１年生66.7％・２年生80％・３年生100％)の調査結果にもほぼ反映されている。全生徒が「英語活動」を体験しており，保護者もほぼ全員が「英語活動」導入について知っていた。学校以外で英語に触れる機会はほとんどなく，NHKの英語番組や衛星放送・インターネットによる英語の視聴を行ったことがある生徒もほとんどいないことに加え，英語学習の目的に対する意識も不明確であった。特に２年生では，英語学習の目的を意識している生徒は皆無であり，興味深いことに，意識していない生徒５名中３名(60％)は，学校の授業に「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待していた。しかし全体としては，「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待する生徒の割合は50％以下であり，この傾向は３年生の保護者を除き一層顕著であった。さらに，英語学習の目的を意識していない２年生５名中２名(40％)は，英語が将来必要になるとは考えていなかったが，60％以上の生徒は将来英語が必要になると考えており，ほぼ総ての保護者も将来子どもに英語が必要になると考えていた。高校進学は総ての保護者が考えていたが，小笠原高校を企図している回答は，ごく少数であった。

３．考　　察

両島に共通して見出される事項として，以下の７点が挙げられる。

①教員研修の機会は限られているものの，長期休暇を利用した研修の機会が比較的確保されていること。
②全学年で，「英語活動」が年間35時間行われていること。
③ALTが学校に配置され，「英語活動」と中学校の英語教育に関わっていること。
④英語学習の目的意識は全体的に希薄であり，特に目的を意識していない生徒では，「高校入試に合格する英語力をつけること」を授業に求めており，かつ将来英語が必要になるとは考えていない傾向にあること。
⑤将来の英語の必要性に関しては，生徒と保護者の間で若干の乖離が見出されること。
⑥「高校入試に合格する英語力をつけること」を学校の授業に望んでいる保護者は，全体として比較的少数であること。
⑦全保護者が，高等学校進学を志向していること。

一方，両島で異なる事項として，以下の３点が見出される。

⑴父島ではNHKの英語番組や衛星放送・インターネットによる英語の視聴を行っている生徒がいる一方，母島では全くいないこと。
⑵父島では，学校の英語の授業以外に生徒が英語に触れる機会として，外国人観光客と英語でコミュニケーションを図る場があること。
⑶父島では島内の高等学校進学を志向する傾向にあるが，母島では最寄りの島の高等学校に進学することを必ずしも企図していないこと。

Ⅴ．沖縄県の状況

１．北大東島（北大東小中学校）2009年３月調査

調査時点では，教員数11名，全生徒数24名(１年生８名・２年生10名・３年生６名)であり，各学年単式学級である。英語専科の教諭１名がおり，村派遣によるALTが配置され，週３時間を基本に英語の授業が行われている。「英語活動」は，１年生から６年生まで年間35時間，担任教師とALTにより行われており，2008年９月までは那覇市のカリキュラムに基づく年間授業計画に沿って実施されていた。また，那覇市の教員が赴任して来る場合が多いため，「英語活動」に関する準備はかなり進んでおり，「英語活動」導入に問題はない。また，「英語活動」及び中学校の英語を同一のALTが担当していることに加え，中学校の英語の教員が週２時間，「英語活動」の授業をALTとともに行っているため，小・中連携も効果的に行われている。インターネット環境は，充分に整備されているとは言えない。島内には村営塾が

あり，学校の補習及び家庭学習の支援を行っている。島内には高等学校がないことから，全員島外の高校に進学し，進学先は主に那覇市とその近郊である(9)。教員研修(10)の機会は限られており，年１回の指導主事訪問が唯一の授業研究の場であり，特に他の教員による授業を参観する機会がないことが問題点として挙げられている。村全体としては進学や英語に対する意識は低く，ALT が唯一の英語学習に対する動機づけとなっている。

上記の内容は，生徒(回答率100％)・保護者(回答率100％)の調査結果にも反映されている。大部分の生徒が「英語活動」を体験しているが，保護者の約半数以上が「英語活動」の導入については知らなかった。この背景については，父島(小笠原中学校)と同様であると考えられる。村営塾があるため，学校以外で英語を学習している生徒も若干いるが，大半の生徒は学校以外で英語に触れる機会はほとんどなかった。ただ，村が海外に中学生を派遣する事業を行っているため，保護者の回答には国際交流を挙げる者がいた。また，１年生では50％(４名)の生徒が NHK の英語番組を視聴している一方，学年が上がるにつれてその割合は減少している。さらに，衛星放送・インターネットによる英語の視聴を行ったことがある生徒も，２年生で30％(３名)いたが，１年生と３年生ではほとんどいなかった。１年生・２年生では，英語学習の目的に対する意識は不明確であるが，目的意識が明確な生徒については，「高校入試に合格する」ことを挙げる割合は少なかった。しかも，興味深いことに，英語学習の目的を意識していない１年生４名中２名(50％)と２年生９名中６名(66.7％)は，学校の授業に「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待していたが，全体としては「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待する生徒の割合は比較的低く，この傾向は保護者でも表れており，50％以上の保護者が「日常会話ができる程度の英語力」を学校の授業に期待していた。さらに，英語学習の目的を意識していない１年生４名中３名(75％)と２年生９名中６名(75％)は，英語が将来必要になるとは考えていなかった一方で，生徒全体の約40％以上とほぼ総ての保護者が，将来の英語の必要性を認識しており，生徒と保護者の間に若干の認識の隔たりが捉えられた。高校進学は総ての保護者が考えており，那覇市を中心とする本島を進学先として企図していた。

２．南大東島（南大東小中学校）2009年３月調査

調査時点では，教員数11名，全生徒数55名(１年生15名・２年生20名・３年生20名)であり，各学年単式学級である。英語専科の教諭１名がおり，村派遣による ALT が配置され，週３時間を基本に英語の授業が行われている。「英語活動」は，担任教師と ALT により，１・２年生が月１回，３・４年生が２週間に１回，５・６年生が年間35時間実施されており，那覇市のカリキュラムに基づく年間事業計画に沿った授業が行われている。また，那覇市の教員が赴任して来る場合が多いため，「英語活動」に関する準備はかなり進んでおり，「英語活動」導入に問題はない。「英語活動」及び中学校の「英語」を同一の ALT が担当しているため，小・中連携はスムーズに行われている。インターネット環境は，充分に整備されているとは言えない。島内には村営塾があり，学校の補習及び家庭学習の支援を行っているが，島内には高等学校がないことから，全員島外の高校に進学し，進学先は約70％が保護者の出身地である那覇市とその近郊である(11)。教員研修の機会は限られており，年１回の指導主事訪問が唯一の授業研究の場であり，特に他の教員による授業を参観する機会がないことが問題点として挙げられている。ただ，2009年４月以降は，インターネット通信を使い，「英語活動」に関わる研修を，本島の研修センターから配信することになっている。村全体としては，進学や英語に対する意識に高低が大きいが，ALT が唯一の英語学習に対する動機づけであることは確かである。

上記の内容は，生徒(回答率１・２年生100％・３年生95％)・保護者(回答率１年生80％・２年生95％・３年生85％)の調査結果にも反映されている。生徒の大部分は「英語活動」を体験しており，保護者の大部分も「英語活動」の導入について知っていた。村営塾があるため，学校以外で英語を学習している生徒も若干いたが，３年生を除き「学校以外で英語に触れる機会はほとんどない」と回答している生徒が大半であり，保護者の回答でも同様の傾向を示している。また，１年生では40％(６名)の生徒が NHK の英語番組を視聴している一方，学年が上がるにつれてその割合は減少している。衛星放送・インターネットによる英語の視聴を行ったことがある生徒は，全体として30％前後いた。英語学習の目的に対する意識は，全学年を通して70％以上が明確であり，「高校入試に合格する」ことを目的に挙げる割合は，20％以下と少なかった。また興味深いことに，英語学習の目的を意識していない１年生４名中２名(50％)と３年生４名中１名(25％)は，学校の英語の授業に「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待していたが，全体としては「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待する割合は27％以下と少なく，比較的多くの生徒が「外国人と会話ができる英語力」を身につけることを授業には求めていた。しかも，この傾向は保護者では一層顕著であり，56％以上の保護者が「日常会話ができる程度の英語力」を学校の授業に期待しており，「高校入試に合格する英語力」の養成を挙げた者は，全体の７％以下であった。

さらに，英語学習の目的を意識していない１年生４名中２名(50％)と３年生４名中２名(50％)は，英語が将来必要になるとは考えていなかった一方で，73％以上の生徒とほぼ総ての保護者が，将来の英語の必要性を認識しており，生徒と保護者の間の認識の隔たりは少なかった。高校進学はほぼ総ての保護者が考えており，那覇市とその近郊を中心とする本島を,進学先として企図していた。

３．波照間島（波照間中学校）2009年３月調査

調査時点では，教員数10名，全生徒数18名(１年生３名・２年生６名・３年生９名)であり，各学年単式学級である。英語専科の教諭１名がおり，県派遣と町派遣によるALTがローテーションで月１～２回来校している。英語の授業は，週３時間を基本に行われている。「英語活動」は，１年生から６年生まで月１回行われており，同一のALTが「英語活動」及び中学校の「英語」を担当しているが，小学校と中学校の連携は全く行われていない。インターネット環境は整っているが，英語の授業では使われていない。島内に塾はなく，学校が総ての学習の場である。島内に高等学校がないため，生徒は全員島外に進学し，その大半は近隣の石垣島の高等学校に進学する。教員研修の機会は限られており，指導主事訪問が唯一の授業研究の場であり，特に同じ教科の他の教員による授業を参観する機会がないことが問題点として挙げられている。また，来校するALTがローテーションにより代わるため,系統的な打ち合わせが難しいことも，問題点として認識されている。島民の英語や進学に対する意識は高いとは言えず，ALTが唯一の英語への動機づけとなっている。なお，外国人観光客が訪れることがあるが，生徒とは接触がないため，英語学習の動機づけにはなり得ていない。

上記の内容は，生徒(回答率100％)・保護者(回答率１年生66.7％・２年生83.3％・３年生100％)の調査結果にも反映されている。全生徒が「英語活動」を体験している反面，保護者の約半数以上が,「英語活動」の導入については知らなかった。この背景についても，父島(小笠原中学校)と同様であると推測される。学校以外で英語を学習している生徒はほとんどおらず，学校以外で英語に触れる機会もほとんどなかった。また，NHKの英語番組や衛星放送・インターネットによる英語の視聴を行ったことがある生徒も全体の30％程度であった。英語学習の目的に対する意識は比較的明確ではあるが，生徒の約半数が「高校入試に合格する」ことを挙げている。従って，学校の授業に「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待している生徒が，やはり半数以上いた。ただ,「高校入試に受かる英語力をつけること」を期待する保護者の割合は，全体としては33％以下と比較的低かった。さらに，英語が将来必要になると考えている生徒は，２年生で66.7％(４名)，３年生で100％(９名)と高い割合を示しており，総ての保護者も将来子どもに英語が必要になると考えていた。高校進学は総ての保護者が考えており，石垣市を中心とする沖縄県内が大半であった。

４．考　察

３島に共通して見出される事項として，以下の７点が挙げられる。

①教員研修の機会が制約されていること。
②全学年で,「英語活動」を行っていること。
③学校の英語の授業以外では，生徒が英語に触れる機会はほとんどなく，ALTが唯一の学習の動機づけになっていること。
④NHKの英語番組や衛星放送・インターネットによる英語の視聴を行っている生徒の割合は，30％以下であること。
⑤将来の英語の必要性に関しては，ほぼ総ての保護者が認識していること。
⑥「高校入試に合格する英語力をつけること」を学校の授業に望んでいる保護者は，全体としては少数であること。
⑦ほぼ総ての保護者が，高等学校進学を志向していること。

また，２島に共通する事項として，北大東島と南大東島では，以下の４点が見出される。

(1)那覇市から教員が赴任する場合が多いため,「英語活動」導入への準備が整っていること。
(2)ALTが学校に配置されており,「英語活動」と中学校の「英語」に関わっていること。
(3)村営塾があること。
(4)英語学習の目的が明確である場合には,「高校入試に合格する」ことや,「高校入試に合格する英語力をつけること」を授業に求めている割合は低い。しかし，英語学習の目的が不明確である場合には,「高校入試に合格する英語力をつけること」を授業に期待する割合が，半数以上になっていること。

沖縄県の３島を鳥瞰する限り，２島の距離が近い北大東島と南大東島では比較的類似の傾向を示しているが，波照間島は，これら２島とは状況が異なっていることが捉えられる結果であった。

Ⅵ．３都道県の離島間の比較考察

前項までの調査結果の分析により，各都道県内の離島間に共通及び相違する状況を捉えることができた。

そこで本項では，３都道県全体に共通する状況を捉えることにより，日本の離島における教育の全体的な傾向を把握し，かつ３都道県で相違する状況を明らかにすることにより，離島の英語教育の課題を探ることとする。

３都道県に共通して捉えられる事項は，以下に挙げる７点である。

①教員研修の機会が制約されており，特に他の教員の授業を観察し，授業研究を行う機会が極めて乏しいこと。

②大部分の生徒が，「英語活動」を経験しているが，授業以外では，小学校・中学校ともに英語に接する機会はほとんどないこと。

③ NHK の英語番組や衛星放送・インターネットを利用して英語に接することは，余り行われていないこと。

④全体的には英語学習の目的を意識している生徒が多いが，島や学年による多様性も散見され，学習目的が明確である場合には，「高校入試に受かる英語力をつけること」を授業に求める割合は低い傾向にあるが，目的が不明確な場合には，「高校入試に受かる英語力をつけること」を授業に求めたり，将来英語を必要とするとは考えていない生徒が多いこと。

⑤保護者の大半は，「英語活動」導入について知っており，大部分がそれに賛成していること。

⑥大半の保護者は，中学校の英語の授業に対して，「将来の仕事」や「日常会話」ができる能力の養成を期待している割合が高く，かつ子どもに将来英語が必要になると考えており，英語学習の意味やその重要性を認識しているが，実際に英語を使う場面は少ないと捉えている。

⑦保護者のほぼ総てが，子どもの高校進学を企図している。

都道県ごとに異なる結果が見られる事項として，上記①に関わっては，東京都の施策が挙げられる。東京都の場合，教員配置に関しても，離島に不利な条件を作り出さないことを意図した施策を行っており，また教員研修についても離島の教員に優先権を与え，教師としての資質を下げない取り組みを実施している。また，沖縄県の場合には，新任教師を離島に配置しないことにより，初任者研修への対応や教師として基礎の確立を保障する取り組みを行っている。②と⑥に関わっては，外国人観光客が訪れる島か否かで差異が見出される。焼尻島・天売島・父島では，外国人観光客との接触により，生徒が英語を使う可能性がある点が注目される一方で，波照間島のように外国人観光客が訪れる島でも，生徒との関わりがない場合には，英語学習の必然性や動機づけとしては機能していない状況が見出される。また， ALT が配置されているか否かについても，離島のような環境では，英語学習への動機づけという観点から着目することが必要である。⑦に関しては，島内に高等学校がある場合にはその高等学校への進学を企図しているが，島内にない場合には，近隣の島の高等学校を必ずしも志望しているわけではないという結果が明らかとなった。すなわち，島外に出るのであれば，他の島に移るよりも，本島を目指す傾向が見られるということである。

Ⅶ. 結　　語

本稿の主題は，学校教育の教科の１つとして英語教育を採り上げ，教師・生徒・保護者の視点から，日本の離島における教育の現状の一端を捉え，そこでの教育が抱える課題を明らかにし，今後の離島における教育政策の方向性を探ることであった。

本稿における考察から，離島の英語教育の実態の一端が，共通性とともに多様性としても捉えられた。義務教育という公教育の枠組みの中に位置づけられているにもかかわらず，離島であるという理由により生ずる不利益があるとするならば，教育の平等という点に鑑み，改善が図られなければならない。

そこで本項では，まとめとして，前項で明らかになった離島の教育の現状や特徴に見られる共通点及び相違点に基づき，離島の英語教育において解決が求められる４点の課題を示すこととする。

１．教師の資質に関わる事項

離島赴任の教員に対する研修を確実に保障し，初任者を離島に配置しないこと，及び専科の教員配置の措置を講ずることは，教育の質保証に関わり重要であると言える。特に教師の資質向上に関し，授業研究が重要な役割を果たしていることは自明であり，その機会をある程度確保することは重要な施策である(12)。また，希望赴任者が少ないという理由で初任者を離島に配置することは，初任者教員並びに生徒両者にとって負の要因に繋がる危険性をはらんでいる。すなわち，教員は初任者研修を充分に受けることが難しい状況に陥り，生徒はベテランの教員が有する特長を経験することなく卒業することになってしまうのである。しかも，専科の教員がいないという状況がそこに加わった場合，教員・生徒ともに充分な学習指導への道筋を描くことが難しくなり，免許外担当の教員による授業の解消は，喫緊の課題である。

２．英語学習の必然性や動機づけに関わる事項

離島は一般的に外国人居住者がいない環境であるため，英語学習の必然性や動機づけをどのように高め確保するかが重要な事項である。従って，離島の学校に優先的に年間を通して ALT を配置し，生徒と日常的に関わ

る機会を確保することで，英語学習の意味や意義を体験する場を保証する必要性がある。

3．マスメディアやICTの活用に関わる事項

上記2.とも連関しているが，離島は英語に触れる機会が限定されているため，日常的に英語に触れる機会として，テレビ・ラジオの英語講座や英語による番組，インターネットの利用による海外の英語放送の活用を促進した授業作りや学習環境を作り出すことが重要になる。特に中学校1年生では，NHKのテレビ・ラジオ番組等を利用する生徒がいる島が散見されたが，その場合でも学年進行とともにその割合は減少しており，離島に赴任する教員自身が，これらの活用を意識した授業作りを行うことが求められる。

4．観光資源の活用に関わる事項

離島によっては多くの観光資源を有している場合があるため，外国人観光客を誘致することにより，島の活性化を図ることが可能になると同時に，生徒に英語を使う環境を作り出すことができる。すなわち，上記2.とも連関しているが，英語を使う必然性を日常生活の中に少しでも生み出し，英語学習の目的を「高校入試に合格する」ことから転換し，同時に将来の英語の必要性へ目を開く工夫をすることが求められている。すなわち，生徒に英語を使う機会を作り出し，英語の必要性を認識する機会を与え，生徒と保護者の間に一部の島で見られた将来の英語の必要性に対する意識の隔たりを埋める努力が求められるのである。外に開かれた方向性を生徒に示すことは，離島という閉じた空間であるからこそ，重要なのである。

5．島内の高等学校の有無に関わる事項

島内に高等学校がある場合には，そこへの進学を志向する割合が高い。すなわち逆の見方をすれば，高等学校がない場合には，必然的に島外に出ることを余儀なくされているということである。現在，高等学校への進学率は95％を超えており，2010年度からは民主党政権による高等学校授業料の実質無料化も開始されている状況において，離島における後期中等教育を保障する施策が求められている。

以上のように，離島が置かれている現状を的確に把握し，それに基づく行政としての適切な施策を構築することが，離島に暮らす生徒たちの教育の平等を確保し，彼らの将来の可能性を保障することに繋がることを，本研究から捉えることができるであろう。

注

(1) これら2島の調査は，2009年度北海道教育大学学校・地域教育研究支援センターへき地教育研究支援部門の個人研究費により行った。

(2) 教師に対する質問事項及び生徒・保護者に対するアンケートの内容・回答集計結果は，本稿末尾の資料1～9に示されている。なお，紙幅の関係上，資料2の奥尻島の回答集計結果以外は，不必要と判断される箇所及び繰り返しとなる部分を，アンケート用紙記載の文言から若干省いている。

(3) 本稿中の教員数は，養護教諭を除き，管理職2名と臨時採用の教員を含む中学校の教員を指す。

(4) この点は，調査時期が2008年9月と早いことに起因している可能性も考えられる。

(5) 小学校と中学校が併設されている場合には，養護教諭を除き，管理職及び臨時採用の教員を含め，中学校所属の教員数のみを示している。

(6) 天売島へは定期船により25分程で行くことができるが，実際には船の便数の関係上通学することができないため，天売高校へ進学を希望する保護者がいない結果になっていることが推測される。

(7) 東京都の中学校の場合，離島であっても総ての教科に対して，教員免許状を有する教員を配置するため，免許外担当教員はいない。

(8) 小学校の「英語活動」及びALTの派遣については，インターラックという民間会社に委託する方式を採っている。

(9) 島民の多くが，那覇市及びその近郊に住宅を所有している場合が多いことが，その理由である。

(10) 沖縄県の場合，初任者研修に経費と時間が必要になるため，初任者が離島に赴任することはない。少なくとも3～5年程度の経験を有している教員が，離島には赴任している。

(11) 島民の多くが，那覇市及びその近郊に住宅を所有している場合が多いことが，その理由である。

(12) 教員への聞き取り調査においても，他の教員による授業を参観する機会がないため，自らの授業の客観的位置づけを行うことができないという指摘がなされていた。

参考文献

木塚雅貴・木村吾勝．2009．「離島の教師の専門的成長への支援　―北海道奥尻島における英語教師の授業改善の軌跡―」．『へき地教育研究』第64号2009．pp.29-52．北海道教育大学　学校・地域教育研究支援センター　へき地教育研究支援部門．

〈資料１〉

英語活動・英語教育に関する聞き取り調査内容

〈小学校英語活動〉

１．主たる担当者　２．実施学年　３．ねらい・目的
４．年間の授業時数　５．年間授業計画　６．テキストの有無
７．必修化へ向けた準備や対応
８．必修化へ向けて必要なことがら
９．授業の方法と内容（具体的に）

〈中学校英語教育〉

１．英語専科の教員数　２．免許外担当教員の数
３．週当たりの授業時数　４．高等学校への進学状況
５．授業の方法（教授法など）（具体的に）

〈小学校英語活動・中学校英語教育共通〉

１．外国人英語指導助手（ALT）の配置状況
２．小・中連携の現状と今後の方向性
３．ICT や教育機器の使用状況
４．英語活動・英語教育に対する子供・保護者の意識・考え方
５．進学に対する子供・保護者の意識・考え方
６．英語活動・英語教育にとって必要なことがらや施策

〈資料２〉 北海道奥尻島奥尻中学校

英語教育に関するアンケート調査（中学生用）　質問と回答結果

この調査は，みなさんが受けている英語教育について知るためのものです。個人名が特定されることはありませんので，正直に答えてください。

回答は，適切な選択肢から１つを選び，○（マル）で囲んでください。また，適宜質問の指示に従って答えてください。

１．出身地はどこですか。
奥尻島　１年生４名　２年生７名　３年生９名
奥尻島以外　１年生１名　２年生６名　３年生４名

２．小学校の授業で，英語を習いましたか。
はい　１年生５名　２年生４名　３年生１名
いいえ　１年生０名　２年生10名　３年生12名

３．小学生のときに，学校の授業以外で英語を習っていましたか。
はい　１年生０名　２年生１名　３年生１名
いいえ　１年生５名　２年生13名　３年生12名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていましたか。具体的に書いてください。
２年生：BE-GO ゼミ（パソコンで）　３年生：通信教育

４．現在，学校の英語の授業以外で英語を習っていますか。
はい　１年生０名　２年生１名　３年生１名
いいえ　１年生５名　２年生13名　３年生12名
（無回答：３年生１名）
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていますか。具体的に書いてください。
２年生：ゼミ　３年生：ゼミ

５．学校の英語の授業以外で，英語に触れる機会はありますか。
はい　１年生１名　２年生３名　３年生３名
いいえ　１年生４名　２年生11名　３年生10名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような場合ですか。具体的に書いてください。
１年生：通信教育
２年生：宿題，TV や音楽の曲名，インターネット，パソコン，ゲーム，口癖
３年生：テレビ，スキーに行ったとき，パソコン

６．NHK 教育テレビや NHK ラジオで放送されている英語番組（例えば基礎英語や英会話など）を聞いていますか。
はい　１年生０名　２年生１名　３年生１名
いいえ　１年生５名　２年生13名　３年生12名

７．衛星放送やインターネットで，英語の番組を見たり聞いたりしたことがありますか。
はい　１年生１名　２年生１名　３年生２名
いいえ　１年生４名　２年生13名　３年生11名

８．英語を学んでいる目的を具体的に意識していますか。
はい　１年生４名　２年生５名　３年生10名
いいえ　１年生１名　２年生９名　３年生３名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような目的を意識していますか。下から１つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事に役に立つ　１年生１名　２年生１名　３年生０名
・高校入試に合格する　１年生１名　２年生２名　３年生５名
・外国人と会話ができる　１年生１名　２年生１名　３年生２名
・趣味　１年生０名　２年生１名　３年生０名
・学校の授業にある　１年生０名　２年生０名　３年生１名
・教養のひとつ　１年生１名　２年生０名　３年生２名
・その他（具体的に）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

９．将来，英語は自分にとって必要になると思いますか。
はい　１年生４名　２年生５名　３年生７名
いいえ　１年生１名　２年生９名　３年生６名

10．現在，英語は日常生活（学校の授業以外）で必要ですか。
はい　１年生３名　２年生３名　３年生３名
いいえ　１年生２名　２年生11名　３年生11名

11．学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から１つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・高校入試に受かる英語力をつけること。
１年生０名　２年生７名　３年生５名
・英語の文法がわかる力をつけること。
１年生３名　２年生２名　３年生１名
・外国人と会話ができる英語力をつけること。
１年生１名　２年生２名　３年生３名
・英語の文章を読むことができる力をつけること。
１年生１名　２年生３名　３年生３名
・その他（具体的に）
３年生：上記総て（１名）

12．現在の学年を選んでください。
・１年生　５名　・２年生　14名　・３年生　13名

英語教育に関するアンケート調査（保護者用）　　質問と回答結果

この調査は，お子さんが受けている英語教育について知るためのものです。個人名が特定されることはありませんので，率直にお答えください。

回答は，適切な選択肢から１つを選び，○（マル）で囲んでください。また，適宜質問の指示に従ってお答えください。

1．2011（平成22）年度から，小学校５・６年生に，外国語（英語）活動が必修化されることをご存知ですか。

はい　　１年生３名　２年生10名　３年生10名
いいえ　　１年生２名　２年生５名　３年生４名

2．小学校の外国語（英語）活動は，必要であるとお考えですか。

はい　　１年生３名　２年生８名　３年生10名
いいえ　　１年生２名　２年生６名　３年生４名

回答理由をお書きください。

１年生：基礎として必要，英語以前に必要なことがある
２年生：会話ができるようになるのであれば必要，パソコン等に役立つ，幼いころから始めると自然と身につく，未来を広く考えられる，世界共通語として必要，中高の英語教育の課題が小学校におりるだけ
３年生：将来役立つ，子どもが興味を持つことは大切，幼いころから始めると自然と身につく，国際社会での必要性がある，小学校から始めると子どものストレスになる

3．中学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から１つだけ選んでください。「その他」を選んだ方は，具体的な内容を書いてください。

・将来の仕事で使える英語力の基礎
　１年生２名　２年生１名　３年生２名
・高校受験に合格する英語力
　１年生１名　２年生７名　３年生３名
・日常会話ができる程度の英語力
　１年生０名　２年生６名　３年生８名
・何も求めていない
　１年生０名　２年生０名　３年生０名
・英語のニュースや番組を理解できる英語力
　１年生１名　２年生０名　３年生０名
・その他（具体的に）
　２年生：英語を学びたいという意欲の基礎（１名）

（無回答：１年生１名　３年生１名）

4．将来，お子さんにとって，英語は必要になると思いますか。

はい　　１年生５名　２年生９名　３年生12名
いいえ　　１年生０名　２年生４名　３年生２名

（わからない・無回答：２年生各１名）

5．お子さんが英語を学んでいることは，意味があるとお考えですか。

はい　　１年生５名　２年生13名　３年生11名
いいえ　　１年生０名　２年生２名　３年生２名

（無回答：３年生１名）

「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような意味があるとお考えですか。具体的にお書きください。

１年生：将来役に立つ，必要度が高くなる
２年生：将来の仕事等で役立つ，世界の人々とコミュニケーションをとることができる，世界の多様性理解に役立つ
３年生：選択の幅を広げることができる，将来の仕事等で役立つ，社会的知識として必要，世界の人々とコミュニケーションをとることが必要

6．英語は，お子さんにとって重要ですか。

はい　　１年生５名　２年生10名　３年生９名
いいえ　　１年生０名　２年生３名　３年生３名

（わからない：２年生１名　無回答：２年生１名　３年生２名）

回答理由をお書きください。

１年生：国際社会に対応するため，視野や世界を広げるため
２年生：高校受験に必要，人生を豊かにできる，世界の人々とコミュニケーションをとることができる，今使わない，本人の能力を考えると不必要
３年生：前向きな生き方につながる，仕事に必要，将来必要になる

7．学校の英語の授業以外に，お子さんが英語を使う機会がありますか。

はい　　１年生１名　２年生２名　３年生２名
いいえ　　１年生４名　２年生11名　３年生12名

「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような場合ですか。具体的にお書きください。

１年生：日常目にする物品の名称
２年生：音楽，インターネット，ゲーム
３年生：パソコン，テレビ番組や雑誌の理解

8．お子さんの高校進学をお考えですか。

はい　　１年生５名　２年生15名　３年生14名
いいえ　　１年生０名　２年生０名　３年生０名

「はい」を選んだ方だけが回答してください。高校進学は，島内をお考えですか。

はい　　１年生２名　２年生８名　３年生７名
いいえ　　１年生３名　２年生４名　３年生３名

（無回答：２年生３名　３年生４名）

9．お子さんの大学進学をお考えですか。

はい　　１年生４名　２年生５名　３年生５名
いいえ　　１年生１名　２年生９名　３年生８名

（無回答：２年生１名　３年生１名）

10．お子さんの現在の学年を選んでください。複数の場合は，該当学年総てを選んで下さい。

・１年生　５名　　・２年生　15名　　・３年生　14名

〈資料３〉北海道焼尻島焼尻小中学校

英語教育に関するアンケート調査（中学生用）　　質問と回答結果

1．出身地はどこですか。

焼尻島　　１年生１名　２年生０名　３年生３名
焼尻島以外　　１年生０名　２年生１名　３年生０名

2．小学校の授業で，英語を習いましたか。

はい　　１年生１名　２年生１名　３年生３名
いいえ　　１年生０名　２年生０名　３年生０名

3．小学生のときに，学校の授業以外で英語を習っていましたか。
はい　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生1名　2年生1名　3年生3名
4．現在，学校の英語の授業以外で英語を習っていますか。
はい　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生1名　2年生1名　3年生3名
（無効回答：1年生1名　無回答：2年生3名）
5．学校の英語の授業以外で，英語に触れる機会はありますか。
はい　1年生0名　2年生0名　3年生3名
いいえ　1年生1名　2年生1名　3年生0名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような場合ですか。具体的に書いてください。
3年生：テレビ，音楽，観光客，プライベートでALTと
6．NHK教育テレビやNHKラジオで放送されている英語番組（例えば基礎英語や英会話など）を聞いていますか。
はい　1年生0名　2年生1名　3年生2名
いいえ　1年生1名　2年生0名　3年生1名
7．衛星放送やインターネットで，英語の番組を見たり聞いたりしたことがありますか。
はい　1年生0名　2年生1名　3年生3名
いいえ　1年生1名　2年生0名　3年生0名
8．英語を学んでいる目的を具体的に意識していますか。
はい　1年生1名　2年生1名　3年生3名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような目的を意識していますか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事に役に立つ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・高校入試に合格する　1年生0名　2年生0名　3年生1名
・外国人と会話ができる　1年生0名　2年生0名　3年生2名
・趣味　1年生1名　2年生0名　3年生0名
・学校の授業にある　1年生0名　2年生1名　3年生0名
・教養のひとつ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
9．将来，英語は自分にとって必要になると思いますか。
はい　1年生1名　2年生1名　3年生3名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
10．現在，英語は日常生活（学校の授業以外）で必要ですか。
はい　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生1名　2年生1名　3年生3名
11．学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・高校入試に受かる英語力をつけること。
1年生0名　2年生1名　3年生1名
・英語の文法がわかる力をつけること。
1年生0名　2年生0名　3年生2名
・外国人と会話ができる英語力をつけること。
1年生0名　2年生0名　3年生0名
・英語の文章を読むことができる力をつけること。
1年生1名　2年生0名　3年生0名
12．現在の学年を選んでください。
・1年生　1名　・2年生　1名　・3年生　3名

英語教育に関するアンケート調査（保護者用）　質問と回答結果

1．2011（平成22）年度から，小学校5・6年生に，外国語（英語）活動が必修化されることをご存知ですか。
はい　1年生0名　2年生1名　3年生2名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生1名
2．小学校の外国語（英語）活動は，必要であるとお考えですか。
はい　1年生0名　2年生1名　3年生2名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生1名
回答理由をお書きください。
2年生：受験に必要
3年生：早いうちに親しむ方が良い，国語力をしっかり身につける方が先
3．中学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ方は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事で使える英語力の基礎
1年生0名　2年生0名　3年生2名
・高校受験に合格する英語力
1年生0名　2年生1名　3年生0名
・日常会話ができる程度の英語力
1年生0名　2年生0名　3年生1名
・何も求めていない
1年生0名　2年生0名　3年生0名
・英語のニュースや番組を理解できる英語力
1年生0名　2年生0名　3年生0名
4．将来，お子さんにとって，英語は必要になると思いますか。
はい　1年生0名　2年生1名　3年生3名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
5．お子さんが英語を学んでいることは，意味があるとお考えですか。
はい　1年生0名　2年生1名　3年生2名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
（無回答：3年生1名）
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような意味があるとお考えですか。具体的にお書きください。
2年生：レベルアップ
3年生：広い世界で勉強や仕事ができるように，英語は世界共通語
6．英語は，お子さんにとって重要ですか。
はい　1年生0名　2年生1名　3年生1名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生1名
（無回答：3年生1名）
回答理由をお書きください。
2年生：受験
3年生：これからたくさん使う機会がある

7．学校の英語の授業以外に，お子さんが英語を使う機会がありますか。
はい　　1年生0名　2年生0名　3年生1名
いいえ　　1年生0名　2年生1名　3年生1名
（無回答：3年生1名）
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような場合ですか。具体的にお書きください。
3年生：外国人観光客と
8．お子さんの高校進学をお考えですか。
はい　　1年生0名　2年生1名　3年生3名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。高校進学は，どちらの地域をお考えですか。
旭　川：1年生0名　2年生1名　3年生0名
札　幌：1年生0名　2年生0名　3年生1名
苫　前：1年生0名　2年生0名　3年生1名
（無回答：3年生1名）
9．お子さんの大学進学をお考えですか。
はい　　1年生0名　2年生1名　3年生1名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生2名
10．お子さんの現在の学年を選んでください。複数の場合は，該当学年総てを選んで下さい。
・1年生　0名　　・2年生　1名　　・3年生　3名

〈資料4〉北海道天売島天売小中学校

英語教育に関するアンケート調査（中学生用）　　質問と回答結果

1．出身地はどこですか。
天売島　　1年生3名　2年生0名　3年生1名
天売島以外　　1年生1名　2年生0名　3年生0名
2．小学校の授業で，英語を習いましたか。
はい　　1年生4名　2年生0名　3年生1名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
3．小学生のときに，学校の授業以外で英語を習っていましたか。
はい　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　　1年生4名　2年生0名　3年生1名
4．現在，学校の英語の授業以外で英語を習っていますか。
はい　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　　1年生4名　2年生0名　3年生1名
5．学校の英語の授業以外で，英語に触れる機会はありますか。
はい　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　　1年生4名　2年生0名　3年生1名
6．NHK教育テレビやNHKラジオで放送されている英語番組（例えば基礎英語や英会話など）を聞いていますか。
はい　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　　1年生4名　2年生0名　3年生1名
7．衛星放送やインターネットで，英語の番組を見たり聞いたりしたことがありますか。
はい　　1年生1名　2年生0名　3年生1名
いいえ　　1年生3名　2年生0名　3年生0名
8．英語を学んでいる目的を具体的に意識していますか。
はい　　1年生4名　2年生0名　3年生0名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生1名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような目的を意識していますか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事に役に立つ　1年生2名　2年生0名　3年生0名
・高校入試に合格する　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・外国人と会話ができる　1年生1名　2年生0名　3年生0名
・趣味　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・学校の授業にある　1年生1名　2年生0名　3年生0名
・教養のひとつ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
9．将来，英語は自分にとって必要になると思いますか。
はい　　1年生4名　2年生0名　3年生1名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
10．現在，英語は日常生活（学校の授業以外）で必要ですか。
はい　　1年生1名　2年生0名　3年生0名
いいえ　　1年生3名　2年生0名　3年生1名
11．学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・高校入試に受かる英語力をつけること。
1年生1名　2年生0名　3年生0名
・英語の文法がわかる力をつけること。
1年生1名　2年生0名　3年生0名
・外国人と会話ができる英語力をつけること。
1年生2名　2年生0名　3年生0名
・英語の文章を読むことができる力をつけること。
1年生0名　2年生0名　3年生1名
12．現在の学年を選んでください。
・1年生　4名　　・2年生　0名　　・3年生　1名

英語教育に関するアンケート調査（保護者用）　　質問と回答結果

1．2011（平成22）年度から，小学校5・6年生に，外国語（英語）活動が必修化されることをご存知ですか。
はい　　1年生4名　2年生0名　3年生1名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
2．小学校の外国語（英語）活動は，必要であるとお考えですか。
はい　　1年生4名　2年生0名　3年生1名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
回答理由をお書きください。
1年生：英語でコミュニケーションをとる，外国文化を理解する，中学校に入って楽，自然と身につきやすい
3年生：自然と身につきやすい
3．中学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ方は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事で使える英語力の基礎
1年生1名　2年生0名　3年生0名

・高校受験に合格する英語力
　1年生2名　2年生0名　3年生0名
・日常会話ができる程度の英語力
　1年生1名　2年生0名　3年生1名
・何も求めていない
　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・英語のニュースや番組を理解できる英語力
　1年生0名　2年生0名　3年生0名

4．将来，お子さんにとって，英語は必要になると思いますか。
はい　1年生3名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生1名　2年生0名　3年生1名

5．お子さんが英語を学んでいることは，意味があるとお考えですか。
はい　1年生4名　2年生0名　3年生1名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような意味があるとお考えですか。具体的にお書きください。
1年生：国際社会で生きて行くために必要，共通語であり他国の人々との交流には必要，色々役に立つ，学ぶことに無意味はない
3年生：学ぶことに無意味はない

6．英語は，お子さんにとって重要ですか。
はい　1年生2名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生2名　2年生0名　3年生1名
回答理由をお書きください。
1年生：社会で生きるため，共通語であり他国の人々との交流には必要，日本語ができれば日常生活で困ることはない
3年生：日本語ができれば日常生活で困ることはない

7．学校の英語の授業以外に，お子さんが英語を使う機会がありますか。
はい　1年生1名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生3名　2年生0名　3年生1名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような場合ですか。具体的にお書きください。
1年生：海外からのお客さんを接待するとき

8．お子さんの高校進学をお考えですか。
はい　1年生4名　2年生0名　3年生1名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。高校進学は，島内をお考えですか。
はい　1年生3名　2年生0名　3年生1名
いいえ　1年生1名　2年生0名　3年生0名

9．お子さんの大学進学をお考えですか。
はい　1年生2名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生2名　2年生0名　3年生1名

10．お子さんの現在の学年を選んでください。複数の場合は，該当学年総てを選んで下さい。
・1年生　4名　・2年生　0名　・3年生　1名
（重複：1年生・3年生　1名）

〈資料5〉東京都父島小笠原中学校

英語教育に関するアンケート調査（中学生用）　質問と回答結果

1．出身地はどこですか。
父島　1年生8名　2年生13名　3年生12名
父島以外　1年生5名　2年生5名　3年生5名

2．小学校の授業で，英語を習いましたか。
はい　1年生11名　2年生17名　3年生8名
いいえ　1年生2名　2年生1名　3年生1名
（無回答：3年生1名）

3．小学生のときに，学校の授業以外で英語を習っていましたか。
はい　1年生2名　2年生2名　3年生1名
いいえ　1年生11名　2年生16名　3年生16名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていましたか。具体的に書いてください。
1年生：BE-GO ゼミ，塾　2年生：塾，学研
3年生：通信教育

4．現在，学校の英語の授業以外で英語を習っていますか。
はい　1年生0名　2年生1名　3年生3名
いいえ　1年生12名　2年生17名　3年生14名
（無回答：1年生1名）
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていますか。具体的に書いてください。
2年生：父島で英語を習う場所　3年生：塾のようなもの，部活

5．学校の英語の授業以外で，英語に触れる機会はありますか。
はい　1年生7名　2年生4名　3年生14名
いいえ　1年生5名　2年生14名　3年生3名
（無回答：1年生1名）
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような場合ですか。具体的に書いてください。
1年生：歌，映画，洋楽，音楽，家の近くの外人，海外に行った時
2年生：外国に行った時，いろんなところ，本，日常，ゲーム，TV，マンガ
3年生：外国人に道をきかれたとき，外国人のお客さんと

6．NHK 教育テレビや NHK ラジオで放送されている英語番組（例えば基礎英語や英会話など）を聞いていますか。
はい　1年生12名　2年生2名　3年生3名
いいえ　1年生1名　2年生16名　3年生14名

7．衛星放送やインターネットで，英語の番組を見たり聞いたりしたことがありますか。
はい　1年生3名　2年生1名　3年生4名
いいえ　1年生10名　2年生17名　3年生13名

8．英語を学んでいる目的を具体的に意識していますか。
はい　1年生5名　2年生14名　3年生9名
いいえ　1年生8名　2年生4名　3年生8名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような目的を意識していますか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事に役に立つ　1年生4名　2年生1名　3年生4名
・高校入試に合格する　1年生0名　2年生4名　3年生0名

・外国人と会話ができる　１年生０名　２年生２名　３年生０名
・趣味　１年生０名　２年生１名　３年生０名
・学校の授業にある　１年生２名　２年生２名　３年生２名
・教養のひとつ　１年生０名　２年生０名　３年生０名
（無効回答：１年生３名　２年生４名　３年生３名）

9．将来，英語は自分にとって必要になると思いますか。
はい　１年生12名　２年生15名　３年生３名
いいえ　１年生１名　２年生３名　３年生14名
（無回答：２年生１名）

10．現在，英語は日常生活（学校の授業以外）で必要ですか。
はい　１年生５名　２年生７名　３年生３名
いいえ　１年生８名　２年生10名　３年生14名
（無回答：２年生１名　無効回答：２年生２名）

11．学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から１つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・高校入試に受かる英語力をつけること。
１年生２名　２年生７名　３年生６名
・英語の文法がわかる力をつけること。
１年生３名　２年生２名　３年生１名
・外国人と会話ができる英語力をつけること。
１年生４名　２年生５名　３年生４名
・英語の文章を読むことができる力をつけること。
１年生４名　２年生２名　３年生２名
・その他（具体的に）
３年生：特にない（１名）
（無回答：３年生３名）

12．現在の学年を選んでください。
・１年生　13名　・２年生　18名　・３年生　17名

英語教育に関するアンケート調査（保護者用）　質問と回答結果

1．2011（平成22）年度から，小学校５・６年生に，外国語（英語）活動が必修化されることをご存知ですか。
はい　１年生６名　２年生５名　３年生８名
いいえ　１年生５名　２年生５名　３年生３名

2．小学校の外国語（英語）活動は，必要であるとお考えですか。
はい　１年生９名　２年生８名　３年生９名
いいえ　１年生１名　２年生１名　３年生２名
（無回答：１年生１名　２年生１名）
回答理由をお書きください。
１年生：早くから始めた方が良い，早くから始めた方が身につきやすい，日本語以外の言葉があることを知ってもらいたい
２年生：早いうちから英語を知ることができる，年少時からのinputが発音に効果をもたらすという研究結果がある，中学より前に耳に入れておいた方が良い，早い時期から親しむため，国語力を高めることが先
３年生：早い時期から親しむため，早い方が良い，早くから耳にしていると自然に覚えられる，頭が柔軟なうちに学ぶのが効果的，他の授業を確実にしてほしい，日本語をきちんと学ぶべき

3．中学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から１つだけ選んでください。「その他」を選んだ方は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事で使える英語力の基礎
１年生０名　２年生１名　３年生０名
・高校受験に合格する英語力
１年生１名　２年生１名　３年生０名
・日常会話ができる程度の英語力
１年生９名　２年生７名　３年生６名
・何も求めていない
１年生０名　２年生０名　３年生０名
・英語のニュースや番組を理解できる英語力
１年生０名　２年生０名　３年生３名
（無回答：２年生１名）

4．将来，お子さんにとって，英語は必要になると思いますか。
はい　１年生９名　２年生10名　３年生10名
いいえ　１年生０名　２年生０名　３年生０名
（どちらとも言えない：１年生２名　３年生１名）

5．お子さんが英語を学んでいることは，意味があるとお考えですか。
はい　１年生10名　２年生10名　３年生11名
いいえ　１年生１名　２年生０名　３年生０名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような意味があるとお考えですか。具体的にお書きください。
１年生：社会的に英語ができないと生活できない状態になっている，人生の幅が広がる，世界語として必要，世間が広がる，自信が持てる，国際社会への対応，知らないより知っている方が良い場面がある，教養として，積極性が生まれる，色々な国の人と物おじせず話しができる
２年生：テレビ等で見たときに理解できている，世界中で日本人は一番英語ができないような気がする，英語で会話できるようになることは大切，外国人とのコミュニケーション，国際理解，大人になるとできない，今後外国人が多く来ると思うから
３年生：今後外国人が多く来ると思うから，コミュニケーションがとれ自信につながる，コミュニケーションがとれお互い理解できる，国際共通語として使えた方が良い，あらゆる場面で英語を使うことが多い，学ばないより良い，異なる思想や文化の理解，他の言語を学ぶスタートライン，海外で役立つ

6．英語は，お子さんにとって重要ですか。
はい　１年生４名　２年生10名　３年生７名
いいえ　１年生２名　２年生０名　３年生２名
（わからない：１年生１名　２年生１名
無回答：１年生３名　２年生１名）
回答理由をお書きください。
１年生：必ず必要とする場面がある，なりたい職業には必ず役に立つ，コミュニケーション，受験がある

2年生：世界共通語なので英語で会話できることは大切，国際理解，これから必要，コミュニケーションをだれとでもとるため
3年生：コミュニケーションをだれとでもとるため，受験があるから，将来の夢や職業の実現のため，国際共通語として使えた方が良い，世界が広がる

7．学校の英語の授業以外に，お子さんが英語を使う機会がありますか。
はい　1年生2名　2年生3名　3年生7名
いいえ　1年生8名　2年生7名　3年生4名
（無回答：1年生1名）
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような場合ですか。具体的にお書きください。
1年生：日系の方との会話，観光で来た外国人との会話
2年生：家族旅行のとき，家庭での会話
3年生：観光で来た外国人との会話，外国人が家に来ることがある，英会話を学ばせている，外国人が観光で来島することが多い

8．お子さんの高校進学をお考えですか。
はい　1年生11名　2年生10名　3年生11名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生0名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。高校進学は，島内をお考えですか。
はい　1年生9名　2年生8名　3年生9名
いいえ　1年生2名　2年生2名　3年生2名

9．お子さんの大学進学をお考えですか。
はい　1年生7名　2年生4名　3年生7名
いいえ　1年生2名　2年生3名　3年生2名
（無回答：1年生1名　2年生1名
未定：1年生1名　2年生2名　3年生2名）

10．お子さんの現在の学年を選んでください。複数の場合は，該当学年総てを選んで下さい。
・1年生　11名　・2年生　10名　・3年生　11名
（重複：1年生・3年生　3名　2年生・3年生　1名）

〈資料6〉東京都母島母島小中学校

英語教育に関するアンケート調査（中学生用）　質問と回答結果

1．出身地はどこですか。
母島　1年生2名　2年生4名　3年生0名
母島以外　1年生1名　2年生1名　3年生3名

2．小学校の授業で，英語を習いましたか。
はい　1年生3名　2年生5名　3年生3名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生0名

3．小学生のときに，学校の授業以外で英語を習っていましたか。
はい　1年生0名　2年生1名　3年生1名
いいえ　1年生3名　2年生4名　3年生2名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていましたか。具体的に書いてください。
2年生：英会話教室　3年生：通信教育

4．現在，学校の英語の授業以外で英語を習っていますか。
はい　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生3名　2年生5名　3年生3名

5．学校の英語の授業以外で，英語に触れる機会はありますか。
はい　1年生0名　2年生0名　3年生1名
いいえ　1年生3名　2年生5名　3年生2名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような場合ですか。具体的に書いてください。
3年生：洋楽

6．NHK教育テレビやNHKラジオで放送されている英語番組（例えば基礎英語や英会話など）を聞いていますか。
はい　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生3名　2年生5名　3年生3名

7．衛星放送やインターネットで，英語の番組を見たり聞いたりしたことがありますか。
はい　1年生0名　2年生0名　3年生2名
いいえ　1年生3名　2年生5名　3年生1名

8．英語を学んでいる目的を具体的に意識していますか。
はい　1年生1名　2年生0名　3年生3名
いいえ　1年生2名　2年生5名　3年生0名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような目的を意識していますか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事に役に立つ　1年生1名　2年生0名　3年生1名
・高校入試に合格する　1年生0名　2年生0名　3年生2名
・外国人と会話ができる　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・趣味　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・学校の授業にある　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・教養のひとつ　1年生0名　2年生0名　3年生0名

9．将来，英語は自分にとって必要になると思いますか。
はい　1年生2名　2年生3名　3年生3名
いいえ　1年生1名　2年生2名　3年生0名

10．現在，英語は日常生活（学校の授業以外）で必要ですか。
はい　1年生1名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生2名　2年生5名　3年生3名

11．学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・高校入試に受かる英語力をつけること。
1年生1名　2年生3名　3年生1名
・英語の文法がわかる力をつけること。
1年生1名　2年生1名　3年生0名
・外国人と会話ができる英語力をつけること。
1年生1名　2年生0名　3年生2名
・英語の文章を読むことができる力をつけること。
1年生0名　2年生0名　3年生0名
（無回答：2年生1名）

12．現在の学年を選んでください。
・1年生　3名　・2年生　5名　・3年生　3名

英語教育に関するアンケート調査（保護者用）　　質問と回答結果

1．2011（平成22）年度から，小学校５・６年生に，外国語（英語）活動が必修化されることをご存知ですか。

はい　　１年生２名　２年生４名　３年生２名
いいえ　　１年生０名　２年生０名　３年生１名

2．小学校の外国語（英語）活動は，必要であるとお考えですか。

はい　　１年生１名　２年生３名　３年生１名
いいえ　　１年生１名　２年生１名　３年生１名
（無回答：３年生１名）

回答理由をお書きください。

１年生：柔軟な学習能力のうちに学んだ方が良い，日本語をもっと勉強すべき
２年生：早い方が良い，道徳の方が先
３年生：世界共通語として英会話能力は必須，日本は島国なので全国民が話せる必要はない

3．中学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から１つだけ選んでください。「その他」を選んだ方は，具体的な内容を書いてください。

・将来の仕事で使える英語力
　１年生１名　２年生２名　３年生０名
・高校受験に合格する英語力
　１年生０名　２年生０名　３年生２名
・日常会話ができる程度の英語力
　１年生１名　２年生１名　３年生０名
・何も求めていない
　１年生０名　２年生０名　３年生０名
・英語のニュースや番組を理解できる英語力
　１年生０名　２年生０名　３年生０名
（無効回答：３年生１名）

4．将来，お子さんにとって，英語は必要になると思いますか。

はい　　１年生２名　２年生３名　３年生２名
いいえ　　１年生０名　２年生０名　３年生１名
（わからない：２年生１名）

5．お子さんが英語を学んでいることは，意味があるとお考えですか。

はい　　１年生１名　２年生３名　３年生２名
いいえ　　１年生０名　２年生１名　３年生１名

「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような意味があるとお考えですか。具体的にお書きください。

１年生：外国人とのコミュニケーションが可能となり世界が広がる
２年生：将来外国人とのコミュニケーションの手段として，インターネット社会で英語に接することが多く必要，外国人を含めて観光客が多く交流しやすい
３年生：世界共通語として英会話は必須，色々な人とコミュニケーションをとるため

6．英語は，お子さんにとって重要ですか。

はい　　１年生０名　２年生２名　３年生２名
いいえ　　１年生２名　２年生２名　３年生１名

回答理由をお書きください。

１年生：子供自身が覚えたければ良い
２年生：インターネット社会で英語の情報に接することが多い，日本語を知ることにも通じる，将来外国人とのコミュニケーションに必要，今それほどでもない
３年生：英会話が重要，教養程度には必要，健全な育成の観点から重要ではない

7．学校の英語の授業以外に，お子さんが英語を使う機会がありますか。

はい　　１年生１名　２年生０名　３年生２名
いいえ　　１年生１名　２年生３名　３年生１名
（わからない：２年生１名）

「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような場合ですか。具体的にお書きください。

１年生：観光客との会話や海外旅行
３年生：英語の歌を口ずさむとき

8．お子さんの高校進学をお考えですか。

はい　　１年生１名　２年生４名　３年生３名
いいえ　　１年生１名　２年生０名　３年生０名

「はい」を選んだ方だけが回答してください。高校進学は，どちらの地域をお考えですか。

母島：２年生２名　　都内：２年生１名
公立校のあるところ：２年生１名　　千葉：３年生２名
未定：１年生１名　　無回答：３年生１名

9．お子さんの大学進学をお考えですか。

はい　　１年生１名　２年生２名　３年生３名
いいえ　　１年生１名　２年生２名　３年生０名

10．お子さんの現在の学年を選んでください。複数の場合は，該当学年総てを選んで下さい。

・１年生　２名　　・２年生　４名　　・３年生　３名

〈資料７〉沖縄県北大東島北大東小中学校

英語教育に関するアンケート調査（中学生用）　　質問と回答結果

1．出身地はどこですか。

北大東島　　１年生６名　２年生10名　３年生４名
北大東島以外　　１年生２名　２年生０名　３年生２名

2．小学校の授業で，英語を習いましたか。

はい　　１年生８名　２年生９名　３年生５名
いいえ　　１年生０名　２年生１名　３年生１名

3．小学生のときに，学校の授業以外で英語を習っていましたか。

はい　　１年生５名　２年生０名　３年生０名
いいえ　　１年生３名　２年生10名　３年生６名

「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていましたか。具体的に書いてください。

１年生：村営塾

4．現在，学校の英語の授業以外で英語を習っていますか。

はい　　１年生０名　２年生１名　３年生３名
いいえ　　１年生７名　２年生６名　３年生３名
（無効回答：１年生１名　無回答：２年生３名）

「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていますか。具体的に書いてください。

2年生：村営塾　3年生：村営塾

5．学校の英語の授業以外で，英語に触れる機会はありますか。

はい　1年生0名　2年生0名　3年生1名

いいえ　1年生8名　2年生8名　3年生0名

（無回答：2年生2名）

「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような場合ですか。具体的に書いてください。

3年生：村営塾の英会話でALTと

6．NHK教育テレビやNHKラジオで放送されている英語番組（例えば基礎英語や英会話など）を聞いていますか。

はい　1年生4名　2年生3名　3年生1名

いいえ　1年生4名　2年生6名　3年生5名

（無回答：2年生1名）

7．衛星放送やインターネットで，英語の番組を見たり聞いたりしたことがありますか。

はい　1年生1名　2年生3名　3年生0名

いいえ　1年生7名　2年生7名　3年生6名

8．英語を学んでいる目的を具体的に意識していますか。

はい　1年生4名　2年生1名　3年生5名

いいえ　1年生4名　2年生9名　3年生1名

「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような目的を意識していますか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。

・将来の仕事に役に立つ　1年生2名　2年生0名　3年生1名

・高校入試に合格する　1年生1名　2年生0名　3年生1名

・外国人と会話ができる　1年生0名　2年生1名　3年生2名

・趣味　1年生0名　2年生0名　3年生0名

・学校の授業にある　1年生1名　2年生0名　3年生0名

・教養のひとつ　1年生0名　2年生0名　3年生0名

（無効回答：3年生1名）

9．将来，英語は自分にとって必要になると思いますか。

はい　1年生5名　2年生4名　3年生5名

いいえ　1年生3名　2年生6名　3年生1名

10．現在，英語は日常生活（学校の授業以外）で必要ですか。

はい　1年生2名　2年生1名　3年生1名

いいえ　1年生6名　2年生9名　3年生5名

11．学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。

・高校入試に受かる英語力をつけること。

1年生4名　2年生6名　3年生2名

・英語の文法がわかる力をつけること。

1年生0名　2年生0名　3年生2名

・外国人と会話ができる英語力をつけること。

1年生0名　2年生2名　3年生0名

・英語の文章を読むことができる力をつけること。

1年生3名　2年生0名　3年生1名

・その他（具体的に）

1年生：基本的な会話（1名）

2年生：将来の必要性（1名）

（無回答：2年生1名　無効回答：3年生1名）

12．現在の学年を選んでください。

・1年生　8名　・2年生　10名　・3年生　6名

英語教育に関するアンケート調査（保護者用）　質問と回答結果

1．2011（平成22）年度から，小学校5・6年生に，外国語（英語）活動が必修化されることをご存知ですか。

はい　1年生2名　2年生6名　3年生2名

いいえ　1年生6名　2年生4名　3年生3名

（無回答：3年生1名）

2．小学校の外国語（英語）活動は，必要であるとお考えですか。

はい　1年生5名　2年生9名　3年生5名

いいえ　1年生1名　2年生0名　3年生0名

（わからない：1年生2名　2年生1名　3年生1名）

回答理由をお書きください。

1年生：早い時期から始めるのが良い，現代社会は国際社会であり必要

2年生：現代は国際社会であり必要，会話が必要になってくる，小さい頃の方が覚えるのが早い，生きた英語を身につけるため，将来に役に立つ，耳に慣れることで取り組みが容易になる

3年生：早い方が良い，興味を持たせるため，生きた英語を身につけるため，耳に慣れることで取り組みが容易になる

3．中学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ方は，具体的な内容を書いてください。

・将来の仕事で使える英語力の基礎

1年生2名　2年生1名　3年生2名

・高校受験に合格する英語力

1年生1名　2年生4名　3年生1名

・日常会話ができる程度の英語力

1年生4名　2年生4名　3年生3名

・何も求めていない

1年生0名　2年生0名　3年生0名

・英語のニュースや番組を理解できる英語力

1年生0名　2年生0名　3年生0名

（無効回答：1年生1名　2年生1名）

4．将来，お子さんにとって，英語は必要になると思いますか。

はい　1年生5名　2年生8名　3年生6名

いいえ　1年生1名　2年生0名　3年生0名

（わからない・無回答：1年生各1名　2年生各1名）

5．お子さんが英語を学んでいることは，意味があるとお考えですか。

はい　1年生6名　2年生8名　3年生6名

いいえ　1年生1名　2年生2名　3年生0名

（無回答：1年生1名）

「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような意味が

あるとお考えですか。具体的にお書きください。
1年生：将来の可能性が広がる，高校・大学受験に必要，日常的に英単語表示がある
2年生：将来の可能性が広がる，外国人と会話できるため，義務教育にあるから
3年生：やっておいてマイナスにはならない，日常生活でこれからは必要，外国人々と会話できるため

6．英語は，お子さんにとって重要ですか。
はい　1年生5名　2年生8名　3年生4名
いいえ　1年生1名　2年生1名　3年生1名
（わからない：1年生1名　2年生1名　3年生1名
無回答：1年生1名）
回答理由をお書きください。
1年生：国際社会で生きるため，進学のため
2年生：将来外国人とコミュニケーションをとることができるため，将来の必要性，将来の職業のため
3年生：将来の仕事，外国人とコミュニケーションをとることができる

7．学校の英語の授業以外に，お子さんが英語を使う機会がありますか。
はい　1年生0名　2年生3名　3年生2名
いいえ　1年生8名　2年生7名　3年生4名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような場合ですか。具体的にお書きください。
2年生：国際交流，パソコン
3年生：国際交流

8．お子さんの高校進学をお考えですか。
はい　1年生8名　2年生9名　3年生6名
いいえ　1年生0名　2年生1名　3年生0名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。高校進学は，どちらの地域をお考えですか。
那覇市：1年生2名　2年生2名　3年生3名
本　島：1年生2名　2年生3名　3年生1名
浦添市：1年生1名　3年生1名
那覇市または浦添市：1年生1名　2年生1名
豊見城：2年生1名　　どこでも：2年生1名

9．お子さんの大学進学をお考えですか。
はい　1年生5名　2年生6名　3年生3名
いいえ　1年生2名　2年生4名　3年生3名
（無回答：1年生1名）

10．お子さんの現在の学年を選んでください。複数の場合は，該当学年総てを選んで下さい。
・1年生　8名　　・2年生　10名　　・3年生　6名

〈資料8〉沖縄県南大東島南大東小中学校

英語教育に関するアンケート調査（中学生用）　　質問と回答結果

1．出身地はどこですか。
南大東島　1年生13名　2年生17名　3年生16名
南大東島以外　1年生2名　2年生3名　3年生2名
（無回答：3年生1名）

2．小学校の授業で，英語を習いましたか。
はい　1年生15名　2年生20名　3年生16名
いいえ　1年生0名　2年生0名　3年生2名
（無回答：3年生1名）

3．小学生のときに，学校の授業以外で英語を習っていましたか。
はい　1年生2名　2年生1名　3年生0名
いいえ　1年生13名　2年生19名　3年生19名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていましたか。具体的に書いてください。
1年生：塾　2年生：塾のようなところ

4．現在，学校の英語の授業以外で英語を習っていますか。
はい　1年生0名　2年生0名　3年生0名
いいえ　1年生15名　2年生19名　3年生19名
（無回答：2年生1名）

5．学校の英語の授業以外で，英語に触れる機会はありますか。
はい　1年生3名　2年生1名　3年生13名
いいえ　1年生12名　2年生18名　3年生5名
（無回答：2年生1名　3年生1名）
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような場合ですか。具体的に書いてください。
1年生：いとこに外国人がいる，外国人と会ったとき
2年生：友人にハーフがいる
3年生：テレビ番組，音楽ゲーム，本，スポーツ，洋画，大会，ALTとの日常会話

6．NHK教育テレビやNHKラジオで放送されている英語番組（例えば基礎英語や英会話など）を聞いていますか。
はい　1年生6名　2年生6名　3年生5名
いいえ　1年生9名　2年生14名　3年生14名

7．衛星放送やインターネットで，英語の番組を見たり聞いたりしたことがありますか。
はい　1年生5名　2年生5名　3年生7名
いいえ　1年生10名　2年生15名　3年生12名

8．英語を学んでいる目的を具体的に意識していますか。
はい　1年生11名　2年生17名　3年生15名
いいえ　1年生4名　2年生3名　3年生4名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような目的を意識していますか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事に役に立つ　1年生5名　2年生5名　3年生4名
・高校入試に合格する　1年生2名　2年生3名　3年生1名
・外国人と会話ができる　1年生2名　2年生4名　3年生6名
・趣味　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・学校の授業にある　1年生1名　2年生2名　3年生0名
・教養のひとつ　1年生1名　2年生1名　3年生3名
（無効回答：2年生2名　3年生1名）

9．将来，英語は自分にとって必要になると思いますか。
はい　1年生11名　2年生17名　3年生15名
いいえ　1年生4名　2年生3名　3年生4名

10. 現在，英語は日常生活（学校の授業以外）で必要ですか。
はい　　1年生7名　2年生8名　3年生11名
いいえ　　1年生7名　2年生12名　3年生8名
（無回答：1年生1名）

11. 学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・高校入試に受かる英語力をつけること。
1年生4名　2年生3名　3年生2名
・英語の文法がわかる力をつけること。
1年生0名　2年生3名　3年生4名
・外国人と会話ができる英語力をつけること。
1年生7名　2年生10名　3年生10名
・英語の文章を読むことができる力をつけること。
1年生4名　2年生3名　3年生2名
（無効回答：2年生1名　3年生1名）

12. 現在の学年を選んでください。
・1年生　15名　・2年生　20名　・3年生　19名

英語教育に関するアンケート調査（保護者用）　質問と回答結果

1．2011（平成22）年度から，小学校5・6年生に，外国語（英語）活動が必修化されることをご存知ですか。
はい　　1年生7名　2年生7名　3年生8名
いいえ　　1年生5名　2年生12名　3年生9名

2．小学校の外国語（英語）活動は，必要であるとお考えですか。
はい　　1年生11名　2年生16名　3年生17名
いいえ　　1年生1名　2年生1名　3年生0名
（わからない：2年生2名）
回答理由をお書きください。
1年生：将来必要になる，早いうちに興味を持たせる方が伸びる，国際交流の時代である，中学生になると発音を恥ずかしがる，中学の学習がスムーズになる，早い方が良い，必修にする活動か分からない
2年生：早い方が吸収が良い，正しい発音を身につけるため，国際共通語として必須，必修にする活動かどうかわからない
3年生：正しい発音を身につけるため，英語を身近に感じるようになる，中学校3年間では足りない，早い方が良い，早い方が身につく，耳で聞いて覚える方が良い，日常生活にも英語が多い，世界共通語であるから

3．中学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ方は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事で使える英語力の基礎
1年生3名　2年生7名　3年生5名
・高校受験に合格する英語力
1年生1名　2年生1名　3年生0名
・日常会話ができる程度の英語力
1年生7名　2年生10名　3年生9名
・何も求めていない
1年生0名　2年生0名　3年生0名
・英語のニュースや番組を理解できる英語力
1年生0名　2年生0名　3年生1名
（無回答：1年生1名　3年生1名
無効回答：2年生1名　3年生1名）

4．将来，お子さんにとって，英語は必要になると思いますか。
はい　　1年生12名　2年生16名　3年生17名
いいえ　　1年生0名　2年生1名　3年生0名
（わからない：2年生2名）

5．お子さんが英語を学んでいることは，意味があるとお考えですか。
はい　　1年生12名　2年生17名　3年生17名
いいえ　　1年生0名　2年生2名　3年生0名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような意味があるとお考えですか。具体的にお書きください。
1年生：将来社会で必要，日常生活にも英単語がある，国際交流の時代，世界観が広がる，将来進学に役立つ，将来仕事で生かせる
2年生：将来の就職のため，わからないよりはわかった方が良い，日常生活でも英語はたくさん使われている，色々な人々とコミュニケーションをとることができる，視野が広がる，国際社会への対応に必要
3年生：将来の可能性を広げることができる，将来の仕事のため，視野を広げる，世界共通語である，英語の必要性が増える，異文化への興味関心をいざなう，外国人と会話ができる，将来の可能性を広げる，世界の情報を正確に知る

6．英語は，お子さんにとって重要ですか。
はい　　1年生10名　2年生12名　3年生14名
いいえ　　1年生2名　2年生1名　3年生1名
（わからない：2年生3名　3年生1名
無回答：2年生3名　3年生1名）
回答理由をお書きください。
1年生：世界観が広がる，将来の職業選択の幅が広がる，将来役に立つ，勉強の順位としては上位ではない
2年生：世界で通用しやすい，国際社会への対応，将来の可能性を開く，現代社会で役に立つ，将来の生活や仕事で必要になる，親戚に外国人がいる
3年生：将来の希望の職業に就くため，将来の必要性，世界の正確な情報を知るため，世界で活躍できる人間になるため，色々な国の人々との交流のため，親戚に外国人がいる

7．学校の英語の授業以外に，お子さんが英語を使う機会がありますか。
はい　　1年生1名　2年生3名　3年生2名
いいえ　　1年生11名　2年生16名　3年生14名
（無効回答：3年生1名）
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような場合ですか。具体的にお書きください。

1年生：いとことの会話
2年生：英語の歌，普段の会話，親戚を訪問したとき
3年生：親戚を訪問したとき，外国人と出会ったとき

8．お子さんの高校進学をお考えですか。
はい　　1年生12名　2年生18名　3年生17名
いいえ　　1年生0名　2年生1名　3年生0名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。高校進学は，どちらの地域をお考えですか。
県内：2年生2名　3年生2名
本島：2年生3名　3年生1名
那覇：1年生4名　2年生5名　3年生7名
那覇または浦添：1年生1名　浦添：2年生2名
豊見城：2年生1名　南部：3年生1名
中部：3年生1名　県外：2年生1名
どこでも：2年生1名

9．お子さんの大学進学をお考えですか。
はい　　1年生3名　2年生11名　3年生12名
いいえ　　1年生6名　2年生3名　3年生3名
（無回答：2年生2名　3年生2名
わからない：1年生3名　2年生3名）

10．お子さんの現在の学年を選んでください。複数の場合は，該当学年総てを選んで下さい。
・1年生　12名　・2年生　19名　・3年生　17名
（重複：1年生・2年生　1名　2年生・3年生　2名）

〈資料9〉沖縄県波照間島波照間中学校

英語教育に関するアンケート調査（中学生用）　質問と回答結果

1．出身地はどこですか。
波照間島　　1年生3名　2年生3名　3年生5名
波照間島以外　　1年生0名　2年生3名　3年生4名

2．小学校の授業で，英語を習いましたか。
はい　　1年生3名　2年生6名　3年生9名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生0名

3．小学生のときに，学校の授業以外で英語を習っていましたか。
はい　　1年生0名　2年生1名　3年生1名
いいえ　　1年生3名　2年生5名　3年生8名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていましたか。具体的に書いてください。
2年生：ECCジュニア，公文　3年生：通信教育

4．現在，学校の英語の授業以外で英語を習っていますか。
はい　　1年生0名　2年生0名　3年生1名
いいえ　　1年生3名　2年生6名　3年生8名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どこで習っていますか。具体的に書いてください。
3年生：ゼミ

5．学校の英語の授業以外で，英語に触れる機会はありますか。
はい　　1年生0名　2年生0名　3年生2名
いいえ　　1年生3名　2年生6名　3年生7名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような場合ですか。具体的に書いてください。
3年生：休み時間のALTとの会話，テレビや資格を取る時

6．NHK教育テレビやNHKラジオで放送されている英語番組（例えば基礎英語や英会話など）を聞いていますか。
はい　　1年生0名　2年生2名　3年生2名
いいえ　　1年生3名　2年生4名　3年生7名

7．衛星放送やインターネットで，英語の番組を見たり聞いたりしたことがありますか。
はい　　1年生0名　2年生2名　3年生3名
いいえ　　1年生3名　2年生4名　3年生6名

8．英語を学んでいる目的を具体的に意識していますか。
はい　　1年生1名　2年生5名　3年生6名
いいえ　　1年生2名　2年生1名　3年生2名
「はい」を選んだ人だけが答えてください。どのような目的を意識していますか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事に役に立つ　1年生1名　2年生2名　3年生2名
・高校入試に合格する　1年生0名　2年生2名　3年生3名
・外国人と会話ができる　1年生0名　2年生1名　3年生1名
・趣味　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・学校の授業にある　1年生0名　2年生0名　3年生0名
・教養のひとつ　1年生0名　2年生0名　3年生0名

9．将来，英語は自分にとって必要になると思いますか。
はい　　1年生1名　2年生4名　3年生9名
いいえ　　1年生2名　2年生2名　3年生0名

10．現在，英語は日常生活（学校の授業以外）で必要ですか。
はい　　1年生1名　2年生1名　3年生3名
いいえ　　1年生2名　2年生5名　3年生6名

11．学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ人は，具体的な内容を書いてください。
・高校入試に受かる英語力をつけること。
1年生2名　2年生4名　3年生4名
・英語の文法がわかる力をつけること。
1年生0名　2年生0名　3年生2名
・外国人と会話ができる英語力をつけること。
1年生1名　2年生2名　3年生1名
・英語の文章を読むことができる力をつけること。
1年生0名　2年生0名　3年生1名
・その他（具体的に）
3年生：上記総て（1名）

12．現在の学年を選んでください。
・1年生　3名　・2年生　6名　・3年生　9名

英語教育に関するアンケート調査（保護者用）　質問と回答結果

1．2011（平成22）年度から，小学校5・6年生に，外国語（英語）活動が必修化されることをご存知ですか。
はい　　1年生0名　2年生3名　3年生3名
いいえ　　1年生2名　2年生2名　3年生6名

2．小学校の外国語（英語）活動は，必要であるとお考えですか。
はい　　1年生2名　2年生5名　3年生9名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
回答理由をお書きください。
2年生：身近な単語から覚えて行くことができる，早い方が良い，使える英語を教えるならば良い
3年生：早い方が良い，中学校に入る準備として必要

3．中学校の英語の授業に求めているものは何ですか。下から1つだけ選んでください。「その他」を選んだ方は，具体的な内容を書いてください。
・将来の仕事で使える英語力の基礎
1年生0名　2年生1名　3年生1名
・高校受験に合格する英語力
1年生1名　2年生1名　3年生2名
・日常会話ができる程度の英語力
1年生1名　2年生3名　3年生6名
・何も求めていない
1年生0名　2年生0名　3年生0名
・英語のニュースや番組を理解できる英語力
1年生1名　2年生0名　3年生0名

4．将来，お子さんにとって，英語は必要になると思いますか。
はい　　1年生2名　2年生4名　3年生8名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
（どちらとも言えない：2年生1名　3年生1名）

5．お子さんが英語を学んでいることは，意味があるとお考えですか。
はい　　1年生2名　2年生4名　3年生9名
いいえ　　1年生0名　2年生1名　3年生0名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような意味があるとお考えですか。具体的にお書きください。
1年生：将来的に考えて意味がある
2年生：世界共通語として有利である
3年生：将来に向けて世界の人々とコミュニケーションをとることができる，学んで損はない

6．英語は，お子さんにとって重要ですか。
はい　　1年生1名　2年生4名　3年生6名
いいえ　　1年生1名　2年生1名　3年生3名
回答理由をお書きください。
1年生：県内の外国人が増えているから
2年生：自分の世界を広げるため，情報化時代には必要，日本語が不充分であるのに英語どころではない
3年生：自分の世界を広げるため，将来仕事に就くとき，社会人になってから役に立つ，世界の人々とコミュニケーションがとれる，英語の必要性が増える

7．学校の英語の授業以外に，お子さんが英語を使う機会がありますか。
はい　　1年生0名　2年生0名　3年生1名
いいえ　　1年生2名　2年生5名　3年生8名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。どのような場合ですか。具体的にお書きください。
3年生：外に出た時に外国人との会話で

8．お子さんの高校進学をお考えですか。
はい　　1年生2名　2年生5名　3年生9名
いいえ　　1年生0名　2年生0名　3年生0名
「はい」を選んだ方だけが回答してください。高校進学は，どちらの地域をお考えですか。
県内：1年生2名　2年生2名　3年生3名
石垣市：2年生2名　3年生4名
どこでも良い：2年生1名　3年生1名　　無回答：3年生1名

9．お子さんの大学進学をお考えですか。
はい　　1年生1名　2年生3名　3年生6名
いいえ　　1年生0名　2年生2名　3年生2名
（わからない：1年生1名　無回答：3年生1名）

10．お子さんの現在の学年を選んでください。複数の場合は，該当学年総てを選んで下さい。
・1年生　2名　　・2年生　5名　　・3年生　9名